

令和6年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業の記録



平和の日イベント講演会
「史料から「武蔵野の戦争」の歴史を学ぶには一初空襲から 80 年を迎えて」



市民から寄せられた
戦争関連資料の展示



武蔵野市非核都市宣言
平和事業実行委員会研修会



憲法月間記念行事講演会
「デジタル社会と憲法」

武蔵野市 非核都市宣言平和事業実行委員会

平和の日メッセージ

昭和 19 (1944) 年 11 月 24 日、武蔵野市が初めて空襲を受けてから、80 年が経ちました。

当時この地には、ゼロ戦などの戦闘機のエンジンを製造していた中島飛行機武蔵製作所という軍需工場がありました。この工場は東洋一と言われるほど大規模で、米軍による本格的な本土攻撃の第一目標となりました。終戦までに空襲は 9 回を数え、工場関係者 200 名以上が犠牲となり、周辺地域でも多くの住民が巻き添えとなりました。

武蔵野市では、この空襲で犠牲になられた方々に哀悼の意を表するとともに、戦争の記憶を継承し、平和の尊さを次世代につないでいくために、平成 23 (2011) 年に武蔵野市平和の日条例を制定し、初空襲のあった 11 月 24 日を「武蔵野市平和の日」と定めました。

武蔵野市平和の日条例の前文には、「市民とともに国際相互理解を推進し、恒久平和の実現を目指すことを誓う」とあります。

世界各地では、現在も国内・国際的な紛争が続いています。未来の子どもたちに戦争も核もない平和な世界を継承していくために、国内外の自治体と連携し、これからも戦争の悲惨さと平和の尊さを武蔵野市から積極的に発信し続けてまいります。

私たちには、「体験の記憶」を語り継いでいく使命があります。貴重な記憶を風化させず、未来へつないでいくため、今後も若い世代に武蔵野の空襲の歴史や戦争体験の記憶を継承しながら、戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えていく活動を市民の皆様とともに取り組んでまいります。

令和 6 (2024) 年 11 月 24 日 武蔵野市長 小美濃 安弘

ま え が き

武蔵野市議会では、昭和 57 年 3 月 29 日に非核都市宣言を行いました。

平成 19 年には、その宣言から 25 年を迎えたことを機に、地域・平和団体、大学生、公募市民などで構成する非核都市宣言 25 周年記念事業実行委員会が設置され、翌 20 年に現在の「非核都市宣言平和事業実行委員会」となり、それ以降、写真パネル展や映画上映会、講演会、子ども向けイベントの企画・運営など様々な平和啓発事業を実施してまいりました。また、平成 23 年には、中島飛行機武蔵製作所が初めて空襲を受けた 11 月 24 日を「武蔵野市平和の日」とする条例が制定されました。

令和 6 年度は、実行委員会とともに行った憲法月間記念行事、夏季平和事業、平和の日イベントに加え、全国の基礎自治体の長が参加する平和首長会議国内加盟都市会議総会を本市で開催し、これまでの平和施策の発信や加盟都市との意見交換等を行いました。

戦争体験者の高齢化により、直接戦争体験のお話をうかがう機会も少なくなっています。一方、平和をめぐる世界情勢の不安定化、市民の生活環境の変化等があるなかで、さまざまな平和関連イベントを通して、次世代へ戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ぎ、平和への意識を高めてまいります。

本書は、令和 6 年度に行われた非核都市宣言平和事業の記録集です。

目 次

I 令和6年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業の実施状況

1	憲法月間記念行事・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	夏季平和事業『戦争も核もない世界を武蔵野から』・・・・・・・・	2
3	平和の日イベント『戦争も核もない世界を武蔵野から』・・・・・・・・	3
4	実行委員会の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・	4
5	委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・	5

II	令和6年度武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会に 参加した実行委員からのメッセージ・・・・・・・・	6
----	---	---

参考	第12回平和首長会議国内加盟都市会議総会・・・・・・・・	10
--	------------------------------	----

I 令和6年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業の実施状況

1 憲法月間記念行事

(1) 憲法月間記念行事作品募集

内 容：書道、イラスト・絵手紙

応募状況：書 道 169 点 うち優秀賞 2 点、入選 16 点

イラスト・絵手紙 34 点 うち優秀賞 2 点、入選 3 点、実行委員会賞 1 点

表 彰：5 月 11 日（土）記念行事にて、優秀賞 4 名を表彰

展 示：①市役所ロビー 4 月 24 日（水）から 5 月 2 日（木）（全作品）

②公会堂ロビー 5 月 11 日（土）（入賞作品のみ）



（優秀賞作品 4 点）

(2) 憲法月間記念行事講演会

【1 日目】

日 時：5 月 11 日（土）午後 1 時 30 分から午後 4 時まで

場 所：武蔵野公会堂ホール

内 容：憲法月間記念作品優秀賞 表彰式

講演会「デジタル社会と憲法」

講師 山本 龍彦 氏（慶応義塾大学博士）

参加者：47 名

【2 日目】

日 時：5 月 12 日（日）午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで

場 所：武蔵野公会堂ホール

内 容：ソロライブ

出演 松元 ヒロ 氏（芸人）

参加者：171 名

(3) 横断幕の掲出

内 容：「憲法を学びみんなでつくろう平和な暮らし」の掲示

日 時：5 月 1 日（水）から 31 日（金） 市役所

2 夏季平和事業 『戦争も核もない世界を武蔵野から』

(1) 写真パネル展の開催(協力:武蔵野けやき会・武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会)

内 容: 広島・長崎の原爆、武蔵野の空襲と中島飛行機

① 市役所ロビー

日 時: 8月1日(木)～9日(金) 午前8時30分～午後5時

(土日祝除く、最終日は正午まで)

② 吉祥寺駅南北自由通路はなこみち

日 時: 8月10日(土) 午前10時～午後4時

③ 武蔵野プレイスギャラリー

日 時: 8月15日(木)～19日(月) 午前9時30分～午後10時

(2) 映画上映会の開催

内 容: 映画「ラーゲリより愛を込めて」上映会

武蔵野市の平和施策に関する説明

戦争関連資料展示

日 時: 8月17日(土) 午後1時30分～4時

場 所: 武蔵野プレイス4階フォーラム

参加者数: 104名

(3) 絵本朗読と講演の開催

内 容: 絵本「麦畑になれなかった屋根たち」朗読

講演 藤田のぼる氏(絵本作家)

武蔵野市での空襲体験者によるお話

戦争関連資料展示

出 演: 藤田のぼる氏、高田友紀氏、中里崇亮氏、島津好江氏

日 時: 8月18日(土) 午後1時30分～3時30分

場 所: 武蔵野プレイス4階フォーラム

参加者数: 47名

(4) 横断幕の掲出

内 容: 「戦争も核もない世界を武蔵野から

世界連邦に関する宣言 非核都市宣言 宣言自治体 武蔵野市」

日 時: 8月1日(木)から31日(土) 市役所、市内3駅前

(5) 市民から寄せられた戦争関連資料展示(協力:延命寺)

内 容: 防空頭巾や爆弾の破片、のぼり旗など

日 時: 8月1日(木)から30日(金) 市役所正面玄関ショーウィンドー

(6) 市報での特集

掲載場所：市報 8 月 1 日号 1 面

掲載内容：戦後 79 年

映画上映会、絵本朗読と講演、パネル展の告知、戦争関連資料展示

子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト、黙とうのお願い

3 平和の日イベント 『戦争も核もない世界を武蔵野から』

(1) 写真パネル展の開催

内 容：武蔵野の空襲と中島飛行機（協力：武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会）

①吉祥寺駅南北自由通路はなこみち

日 時：11 月 9 日（土）午前 10 時～午後 4 時

②武蔵野プレイスギャラリー

日 時：11 月 17 日（日）～19 日（火）午前 9 時 30 分～午後 10 時

③市役所 1 階ロビー

日 時：11 月 21 日（木）～29 日（金）午前 8 時 30 分～午後 5 時（土日祝除く、最終日は正午まで）

(2) 横断幕の掲出

内 容：「平和への願いを込めて 11 月 24 日は武蔵野市平和の日です。」

日 時：11 月 1 日（金）～30 日（土） 市役所、市内 3 駅前

(3) 市民から寄せられた戦争関連資料展示（協力：延命寺）

内 容：鉄カブト、入営祝いのぼり旗、遺族に贈られた証書等

日 時：11 月 1 日（金）～29 日（金）市役所正面玄関ショーウィンドー

(4) 市内各コミセンなどにおけるミニミニ空襲パネル展

内 容：中島飛行機武蔵製作所と武蔵野の空襲

場 所：本宿、桜堤、西久保、吉祥寺東、御殿山

(5) 図書館での中島飛行機や戦争、平和に関する図書の設置

（協力：公益財団法人武蔵野文化生涯学習事業団）

①中央図書館

日 時：11 月 7 日（木）～11 月 28 日（木）

②吉祥寺図書館

日 時：11 月 16 日（土）～11 月 29 日（金）

③武蔵野プレイス

日 時：11 月 1 日（金）～11 月 24 日（日）

(6) 平和の日イベント 講演会

日 時：11月24日(日) 午後1時30分から午後3時30分まで

場 所：武蔵野公会堂ホール

内 容：講 演「史料から「武蔵野の戦争」の歴史を学ぶには

—初空襲から80年を迎えて—」

講 師 高野 弘之 氏(武蔵野市ふるさと歴史館 公文書専門員)

参加者：87名

4 実行委員会の開催状況

	日 時	主 な 内 容
第1回	4月22日(月)	実行委員会の運営、実行委員長の選出について
第2回	5月23日(木)	憲法月間記念行事、夏季平和事業について
第3回	6月24日(月)	夏季平和事業、平和の日イベントについて 研修会について
第4回	7月22日(月)	夏季平和事業、平和の日イベントについて
第5回	9月10日(火)	夏季平和事業、平和の日イベントについて
研修会	10月10日(木)	・防衛省市ヶ谷地区(東京都新宿区市谷本村町) ・しょうけい館 戦傷病者史料館(千代田区九段下)
第6回	10月29日(火)	平和の日イベント、憲法月間記念行事について
第7回	12月17日(火)	平和の日イベント、憲法月間記念行事について
第8回	令和7年1月24日(金)	憲法月間記念行事 市関連施設におけるイベントの日程及び場所について
第9回	3月21日(金)	憲法月間記念行事、夏季平和事業、 1年間の振り返りについて

令和6年度 武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会 委員名簿

選出分野	氏名	団体名
市民団体・大学生	高橋 淳子	武蔵野市コミュニティ研究連絡会
	内田 篤	武蔵野市立小中学校PTA連絡協議会
	木川 憲子	武蔵野市老人クラブ連合会
平和関連団体	牛田 守彦	武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会
	中里 崇亮	武蔵野市世界連邦運動協会
	木岡 紀久代	武蔵野けやき会
	田村 恭子	武蔵野市国際交流協会
公募委員	金子 宗徳	市内在住
	北山 征一	市内在住
	菊竹 進	市内在住
	高橋 智香	市内在住
	横山 耕平	市内在住
戦争体験者	島津 好江	市内在住

※大学生委員は応募なし

Ⅱ 令和6年度武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会に 参加した実行委員からのメッセージ

武蔵野市世界連邦運動協会 中里 崇亮

私は世界連邦運動協会の会員の立場から平和事業実行委員会に参加させてもらっています。世界連邦運動協会の目指すところは世界連邦を創設し、紛争・環境破壊・難民・飢餓など、国家を超えた問題を解決していくことです。世界連邦実現により、世界の人々が国家・宗教・民族などの違いを超えて手を携えて平和の日々が来ますよう、市民と共に頑張っていきたいと思います。

中島飛行機武蔵製作所を第一目標として1944年12月24日のマリアナ諸島からのB-29による武蔵野初空襲88年、終戦88年になります。空襲警報が鳴るたびに玉川上水近くの雑木林の中に防空頭巾を被って避難を繰り返していました。満8歳・国民学校2年生の空襲体験は忘れることは出来ません。周りに住む空襲体験者もますます減少しています。私も88歳となり耳目が不自由になり活動が鈍くなりました。

武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会の活発な活動のお陰で平和観音と北村西望命名の平和の鐘の見学者が多くなりました。戦争遺品の調査、記録についてもご協力をいただき進展致しました。市民の中にも遺品や写真を持っている話を聞きます。これらのものを市指定平和遺跡等として指定できないかと思っています。

公募委員 横山 耕平

今年度は副委員長の大役を務めさせて頂き、大変多くの学びがありました。なるべく多くの委員から意見を引き出し、納得のいく結論に辿り着けるように、腐心したつもりです。米国では二度目のトランプ政権が誕生しました。自国第一主義的な潮流が蔓延し、敵対感情を増長させるようなムードが加速するのではないかと懸念しております。

対立点を非難し合う社会ではなく、いかに意見の異なる相手であっても、一致点を少しずつ見出し、お互いを尊重し合える、そんな真に民主的な社会を目指したいですね。

対立点よりも一致点を尊重し合える社会を目指し、武蔵野市ならではの平和事業に今後も貢献したいと思います。

武蔵野市コミュニティ研究連絡会 高橋 淳子

武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会に参加して、平和事業に関わることができました。ありがとうございました。

資料館や記念館でたくさんの人々の苦難の体験や記録を知ることにより、平和に暮らす私達の普通の日々のありがたさを更に実感しました。

そして、戦災の記録や戦争遺跡を保存すること、次世代にどのように継承していくべきか、これからも平和の尊さやありがたさを次の世代に伝えていくことは大きな課題だと思います。

武蔵野市市立小中学校PTA連絡協議会 内田 篤

私は、令和5年度から2年連続で非核都市宣言平和事業実行委員会に参加させて頂きました。

実行委員として、夏季平和事業では、映画「ラーグリより愛を込めて」の上映や、絵本「麦畑になれなかった屋根たち」朗読の運営に参加致しました。いずれも多くの方にご来場頂くことができ、市民の皆様の平和への関心の高さを強く感じました。

武蔵野市には、旧中島飛行機武蔵製作所跡があり、先の大戦では空襲のために甚大な被害を被ったという歴史があります。

そのような歴史をもつ武蔵野市から、戦争や紛争の絶えない世界に向けて、平和を訴え続けることの大切さを強く感じています。

武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会 牛田 守彦

2024年度の振り返りを送ります。

この1年間は、自治体の平和施策はどうあるべきであるのか、その原点を確認するような議論が多かったように思います。「戦争も核もない世界を武蔵野から」という合言葉や、平和の日条例にある「戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に語り継いでいく」という目標に沿って、若い世代にも魅力的な活動に発展させることが大切になっていると思います。本年1月の平和首長会議の取り組みもたいへん良かったと思います。そして何よりも、2024年10月、「けやき会」も参加する日本被団協のノーベル平和賞受賞は、核兵器の禁止への世論を大いに励ますものだと思います。これを糧にますます非核・平和の世論づくりを進めていきたいと思います。

武蔵野けやき会 木岡 紀久代

今回で委員会に参加して3年目になります。今年度は、日本被団協がノーベル賞を受賞したり、その授賞式に招待してもらったりなど、とても印象的な1年となりました。これからも平和のために様々な方々と協力しながら、頑張っていきたいと思います。1年間ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

武蔵野市国際交流協会 田村 恭子

今年度の活動は日本被団協がノーベル賞を受賞した忘れられない1年となりました。武蔵野市の平和事業実行委員会と一緒にいる被団協武蔵野支部（けやき会）の方々も、これまで平和イベント参加者や後世のために過去の体験談を語り、戦争の記憶を刻み込もうと心血を注いで下さっています。そのような戦争体験者のお姿に胸を打たれながら、平和事業実行委員会の活動の意義深さを改めて噛みしめました。1年間、ありがとうございました。

公募委員 金子 宗徳

平和事業を抜本的に見直す必要性

平和に対して一義的に責任を有するのは外交および防衛を所管する中央政府であり、そもそも地方公共団体が平和事業を行うことに疑念を懐いていたけれども、一年間の活動を終えた今、現行の平和事業は不要であると言わざるを得ない。

実行委員の構成が固定化し、特定のイデオロギーに基づく議論が密室でなされ、それを事務局たる市民活動推進課も追認している状況であった。そうした状況に歯止めをかけるべく議事過程の透明化とコスト意識の徹底を求め、一定の成果は上げたものの十分な成果を上げられぬまま任期満了を迎えたことは極めて残念であり、次年度以降、再び従前の悪習が甦らないか心配だ。

第二次世界大戦後、日本は平和だったと言われるが、北朝鮮は日本人を拉致し続けてきた。その事実を無視して平和と称するのは欺瞞であり、中共が覇権主義を強める中で戦争の危機が高まっている。今後、公金を支出して平和事業を展開するのであれば、そうした状況を踏まえ、平和に関する住民の多様な意見を汲み取ることが求められる。

公募委員 北山 征一

2024 年度武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会に参加して、早や一年がたちました。この委員の応募にはおよそ 5 回もしましたが、2 回程落ちましたが、後は参加できるという幸運で諸先輩のお話を聞きながら、もっとも年齢では、私も中里委員の次の次の次？という「ベテラン」の年齢になりましたが、いつも若い気持で、毎年の平和事業について実行できるようお手伝いをしてきました。特に昨年は平和首長会議国内加盟都市会議総会が我武蔵野市が主管として開催され、傍聴できたし、バス研修だけは今年に行けなかったが、諸事業に参加して平和事業のお伝い出来、更に若い人がこれからも参加されるよう期待しながら、頑張りたいと思います。特に今年は被爆 80 年の節目の年でもあるので、よろしくお願いします。

公募委員 菊竹 進

今日、我が国は戦後最大の危機を迎えていると言っても過言ではありません。

「尖閣諸島を奪う」ことを明言し軍事的恫喝を常態化させている中国、多くの日本人を拉致し、核・ミサイル開発を進める北朝鮮、我が国の領土を不当に占拠し続けているロシアと韓国。

世界のどこよりも軍事的衝突の起きやすい状況、これが我が国を取り巻く現在です。

この状況で果たして【非核】でいることが【平和】につながるのか？

核を手放したことでロシアに侵略をされたウクライナを見ても分かる通り、平和を守り日本を守るには【抑止力】が不可欠です。

これからも市民全体で平和のあり方を考えていきたいと思います。

公募委員 高橋 智香

2年目の実行委員会の参加でした。平和という同じ言葉のもとに集まり、多様なバックグラウンドの方と意見が交わせたこと、とても貴重な機会だったと振り返ります。ときに言葉ひとつで喧々諤々の議論が繰り広げられる場面もあり、自分の考え・言葉を今一度省みることも多々ありましたが、闊達に議論ができる場があることに意義を感じます。個人的には、夏季事業での藤田のぼるさんの講演で聞いた『麦畑になれなかった屋根たち』の印象が強く残っています。なぜ武蔵野で平和活動が行われるようになったのか、地域と中島飛行機武蔵製作所とのつながりをあらためて考えるとともに、個人的にもいっそう調べ、語れるようになりたいと思う契機になりました。今後も、多様な市民の方と先の大戦、平和について見識を深めていければと思います。

戦争体験者 島津 好江

終戦より80年が過ぎて、子供（小学生3、4年生の男子生徒）が元気にいつも通学路を同じ時間に通ります。「おばさん平和って何だ」と聞かれました。私はあわてて「戦争のないこと、ひとつきりない、地球上にね」と畏れず、大声で答えました。ついでに「学校の先生とお父さん、お母さんに聞いてごらん」と言いました。太平洋戦争が終わっても、どこかの国が戦争をしています。それぞれの家族が仲良く、自然の中で生活できたら、みんな幸せだと思います。私も太平洋戦争の時は、小学校（当時国民学校）の3～5年生でした。国を守るため小国民と言われました。「痛がりません、勝つまでは」朝礼の時間に上半身裸で体操をしました。赤白の小旗を兵隊さんが先生で教えていました。毎月1日、15日は全校の先生、生徒で町の神社に戦争が勝つまで参拝し、1億1身となれたのです。でも、爆弾で命を落とした人もたくさんいました。これが戦争でした。子供のころを思いました。

参考 第12回平和首長会議国内加盟都市会議総会

1 主催と開催都市

開催都市：武蔵野市

主催：平和首長会議、広島市、長崎市

2 日時・場所

1日目：令和7年1月16日（木）

午後1時30分から5時まで

武蔵野市民文化会館 大ホール

プログラム：プロモーション映像の上映、平和取組発表、講演「戦禍をこえて」

（講師：大石 芳野 氏（写真家））等

2日目：令和7年1月17日（金）午前9時30分から11時45分まで

吉祥寺エクセルホテル東急 8階アンバサダールーム

プログラム：加盟都市による平和に関する取組事例の報告、核兵器廃絶に向けた要請文の採択等

3 参加者

1日目 309名

2日目 157名 合計 466名（加盟都市は100都市 177人の参加）



武蔵野市非核都市宣言

戦争の惨禍を防止し、恒久平和を実現することは、全人類が切実に念願するところである。

核兵器保有国間で核軍拡競争が激化している今日、とりわけ核戦争を回避し、原水爆の恐れのない世界を確立することは、緊急かつ重大な課題である。

武蔵野市は、平和を希求する世界連邦に関する宣言都市として、人間が人間を滅ぼす危険を防ぎ、人類永遠の平和を樹立するため、非核三原則の完全実施を願い、最大限の努力を傾注するものである。

ここに、われわれは、平和のために貢献する決意を表明するとともに、武蔵野市が非核都市となることを宣言する。

昭和 57 年 3 月 29 日

武蔵野市議会

世界連邦に関する宣言

武蔵野市は、世界の恒久平和と人類永遠の繁栄を保障する世界連邦の建設に同意し、武力国家の対立を解消して、英知と友愛に基づく世界の新しい秩序の実現を希求する。人類最初の原爆被災国として、また戦争放棄を憲法に明記した国として提唱し得る最適の立場にあることを確信し、この宣言を行ない、他の宣言都市と相携えて、世論を喚起し、これを国政に反映せしめ、速やかに国家宣言を行うと共に、進んで現行の国連憲章の改正により世界連邦の実現を期するものである。右宣言する。

昭和 35 年 6 月 28 日

武蔵野市議会



令和6年度

武蔵野市非核都市宣言平和事業の記録

発行 令和7年7月

武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会

武蔵野市市民部市民活動推進課内

武蔵野市緑町2丁目2番28号

電話(0422)60-1829 (直通)